

ら 3—4 本の葉片 (=葉裂片) が出ることもあるのではないかと疑われる程であるが、未だ確認は出来ない。他の苔類では 1 merophyte から必ず 1 葉が形成されるので、この点 *Takakia* はきわだって特殊な苔類である。この問題は次に述べる葉序の不規則性と関連している。

葉序は蘚苔類中特異である。第一に殆ど全く不規則である。*Haplomitrium* (Calobryales の 1 属) が多少不規則の 3 列であるが、他は規則的な葉序を有する。この *Takakia* の葉序の不規則性の原因は 1 merophyte からしばしば 2 葉片が生ずるためであろう。井上 (1961) が調べた如く、頂端細胞は 3 分割面を以て分裂を続けるのであるが、元気のよいシュートではほとんど分裂がすすみ、1 merophyte から、或るものは早く、或るものはおそく、2 葉片が出来たりして、不規則な振れが起る。蘚類の如く一定の数字で表現出来る葉序とは全く異なる。然し葉の密生していない、弱いシュートか或いはシュートの下部の葉序に注目すると、茎上部のような不規則な振れがごく弱いので、葉序は大体 3 列になっている。

□G. E. B. Bonner: **Index Hepaticarum**, Pars II & III. 各冊 320 頁, 第 2 巻は *Achiton* から *Balantiopsis* 迄, 第 3 巻は *Barbilophozia* から *Ceranthus* 迄のすべての苔類の属以下変種以上の taxon が ABC 順に収録してある。第 1 巻について本誌 37 巻 8 号 241 頁に紹介したので詳細は略く。

□Margaret Fulford: **Manual of the leafy Hepaticae of South America**, Part 1, (Mem. New York Nem. New York Bot. Gard. vol. 11, Gard. vot. Bol. 11, no. 1, p. 1-170), 1963. (\$4.—) 長年 南米の ウロコゴケ類の苔類を研究して来た著者の総決算とも云うべき労作の第 1 分冊であり, Calobryaceae と Subord. Ptilidiinae の 11 科を取扱っている。分類学上の新知見が沢山折込まれて居り, 南米の苔類フロラに興味のない人でも, 苔類のシステムに関心のある人には欠かせぬ重要な文献である。第 2 分冊以下は凡そ毎年 1 冊の割で出版される。申込みは Dr. H. W. Rickett, The New York Botanical Garden, New York 58, N. Y. 宛。 (服部新佐)

		正 誤	Errata
頁 (Page)	行 (Line)	誤 (For)	正 (Pead)
96	2	globasa	globosa
102	6	schematic	schematic
"	35	corrot	carrot
105	12	ugoensis	ugoense
106	12	ligescens	lignoscens
"	33	rubescens	rubescences
108	22	Neotypus	Lectotypus
165	11	thinwalled	thin walled
165	4	トキハハゼ	トキワハゼ